

令和4年度

事業計画書

社会福祉法人 日立市社会福祉事業団

## 令和4年度社会福祉法人日立市社会福祉事業団事業計画

はじめに

日立市社会福祉事業団は、昭和50年に特別養護老人ホーム日立市萬春園の設置を機に設立されて以来、日立市の社会福祉施設の管理運営を主に高齢者福祉及び障害者福祉の一翼を担ってまいりました。

その後、高齢者福祉の分野においては、介護保険制度が創設され、福祉サービスの在り方が大きく転換し、また、障害者福祉の分野においても障害者総合支援法が制定され、日常生活の自立にとどまらず、地域社会との関わりの中で社会生活の自立に向けた支援が求められることになりました。そのため、これらの社会福祉制度の変革に対応した事業の充実を図り、着実な実績を積み上げて地域福祉の推進に寄与してまいりました。

一方で、地方自治法に基づく指定管理者制度の導入に伴い、平成18年度からは指定管理者として日立市萬春園等の管理運営業務を受託し、適正かつ円滑な管理運営に努めてまいりましたが、超高齢社会の到来の中で、介護の重度化や慢性的な人員不足等、本事業団を取り巻く環境は、依然として厳しいものになっております。

令和4年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図るとともに、目標設定に基づく利用者定員確保及び利用率の向上、新たな加算の取得など、経営改善に向けた取組を組織として積極的に進めてまいります。また、タブレットを活用した介護記録の電子化、介護ロボット等の導入など、ICTの利用促進による業務の効率化や職員の負担軽減を図るとともに、業務改善提案制度の導入や職員の資格取得助成制度の拡充により、職員のスキルアップ・モチベーションの向上に務め、介護業務の質的充実や働きやすい職場環境づくりを推進してまいります。

さらに、地域の福祉ニーズが多様化する中、公設民営としての社会的な使命を十分に認識し、低所得者のほか様々な理由による入所困難者の受入れなど、セーフティネットとしての役割を果たしていくとともに、地域の中で信頼される施設として、住民の皆様と連携を図りながら、地域社会における福祉の向上により一層努めてまいります。

## I 運営方針

- 1 日立市が設置した社会福祉施設の指定管理者として、公設民営の役割を自覚し、広く多様化する市民のニーズに沿った福祉サービスの提供に努め、日立市における社会福祉の増進に寄与する。
- 2 利用者本位の満足度の高いサービスを提供し、生活の質の向上と自立に必要な援助を行う。
- 3 研修体系の充実を図り、専門的な知識や技術に加えて、豊かな人間性と情熱を持った人材を育成する。
- 4 ボランティアや実習生の受け入れを積極的に行い、広く福祉に携わる人材の育成に貢献するとともに、開かれた施設運営を目指す。
- 5 社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を効果的・適正に行うため、自主的に経営基盤の強化を図るとともに、事業経営の透明性の確保を図る。

## II 事業概要

### 1 指定管理者受託施設

施設・事業名	種 別	定員(人)	受託年月日
萬春園	特別養護老人ホーム (指定介護老人福祉施設)	100	S 50. 4. 1
同 短期入所事業	老人短期入所事業 (指定短期入所生活介護事業所・指定 介護予防短期入所生活介護事業所)	空床利用	
萬春園デイサービスセンター	老人デイサービスセンター (指定通所介護事業所・指定基準型通 所介護サービス事業所)	25	H 6. 12. 21
はまぎく荘デイサービスセン ター	老人デイサービスセンター (指定通所介護事業所・指定基準型通 所介護サービス事業所)	25	S 63. 7. 1
かねはたデイサービスセンタ ー	老人デイサービスセンター (指定通所介護事業所・指定基準型通 所介護サービス事業所・指定認知症 対応型通所介護事業所・指定介護予 防認知症対応型通所介護事業所)	一般 25 認知症 8	H12. 3. 1
かねはた短期入所施設	老人短期入所施設 (指定短期入所生活介護事業所・指定 介護予防短期入所生活介護事業所)	20	H12. 3. 1
同 障害福祉サービス事業	(指定短期入所事業所)	空床利用	H19. 1. 1
かねはた老人ホーム	養護老人ホーム	50	H12. 2. 1
大みかけやしき荘	障害者支援施設 (指定生活介護事業所・指定施設入所 支援事業所)	50	S 57. 4. 1
同 障害福祉サービス事業	(指定短期入所事業所)	宿泊 3	
老人福祉センターはまぎく荘	老人福祉センター	130	S 63. 5. 2

## 2 受託事業等

事業名	施設名	定員(人)	受託年月日
生活管理指導短期宿泊事業	かねはた老人ホーム	2	H12. 4. 1
生きがいつくり支援事業	かねはた 老人福祉センターはまぎく荘	10	H13. 4. 1
障害者等日中一時支援事業	大みかけやき荘	日中 5	H18. 10. 1
グループホーム事業	けやきホーム	4	H21. 6. 15
ミニデイサービス事業	萬春園デイサービスセンター はまぎく荘デイサービスセンター	午前 5 午後 5	H27. 4. 1

## 3 自主事業

施設・事業名	種別	設置年月日
萬春園介護計画センター	居宅介護支援 (指定居宅介護支援事業所)	H15. 7. 23

### Ⅲ 事務局（法人全体を含む）事業計画

#### 1 行事等

時期	名称
4月	人事異動
5月	監事決算監査、理事会
6月	評議員会、大学訪問（令和5年度求人）
7月	高校訪問（令和5年度求人）
8月	広報誌「事業団ひたち」発行
9月	職員採用試験（令和5年4月採用）
12月	理事会
2月	広報誌「事業団ひたち」発行、新年度予算編成
3月	理事会

#### 2 経営改善に対する取り組み

##### (1) 実施項目

目標・取組事項	主な取組内容
継続的な利用者ニーズの把握	利用者、家族アンケートの実施
将来を担う人材確保・育成	職員募集広報の強化
風通しの良い職場づくり	働きやすい職場環境づくりを推進するための朝礼、定期的な打合せ、職員アンケート等の実施
スキルアップ・モチベーションの向上	業務改善提案制度の導入・資格取得助成制度の拡充
市の施策の的確な把握	定期的な情報交換の場の設置
市の収支差額改善に向けた取組	年度収支の改善、利用者定員の確保及び新たな各種加算の取得
ICTの活用促進	介護記録の電子化・介護請求ソフトの更新
行政への積極的な情報提供	萬春園再整備に向けた施設情報や介護情報の提供

(2) 検討項目

目標・取組事項	主な取組内容
利用者や利用者の家族から喜ばれ、満足してもらえるサービスの検討・実施	サービスの在り方の検討
職員研修の充実	業務・階層に応じた体系的研修の実施
新たな運営体制の構築	新萬春園の人員配置及び勤務体制の検討・見直し、新設備の有効活用

2 会議・委員会

名称	主な内容	頻度	参加者
施設長会議	施設運営に関する情報共有及び課題の検討	毎月	常務理事、事務局長、施設長等
施設長補佐・主任会議	法人内の課題に関する情報共有及び検討	年6回	事務局長、施設長補佐、主任

3 研修等

時期	研修名	参加者
4月	新任職員研修（中途採用者：随時）	新任職員（施設配属職員を含む）
備考	・外部研修は、必要に応じて適宜参加	

## IV 施設別事業計画

### 萬春園

- 特別養護老人ホーム「日立市萬春園」 (指定介護老人福祉施設)
- 同 短期入所事業  
(指定短期入所生活介護事業所・指定介護予防短期入所生活介護事業所)
- 老人デイサービスセンター「日立市萬春園デイサービスセンター」  
(指定通所介護事業所・指定基準型通所介護サービス)
- 同 ミニデイサービス事業
- 居宅介護支援「日立市萬春園介護計画センター」 (指定居宅介護支援事業所)

#### [施設共通目標]

- 1 介護保険制度に基づき、サービス提供者としての責任と自覚を持ち、施設及び居宅サービス事業の運営基準における趣旨の具現化を進める。
- 2 虐待防止及び身体拘束廃止の内外部の研修を積極的に実施・参加し、専門職としての意識の向上に努める。また、介護事故の発生及び再発防止するため、徹底した原因分析を行い、防止策を検討して実施する。
- 3 非常災害などの発生時に迅速な対応ができるよう自衛消防組織を中心に様々な想定をした防災訓練を実施し、防災意識の高揚に努めるとともに、災害時に備えた備蓄品の点検・確認を行い、利用者が安心して生活できるように努める。
- 4 新型コロナウイルス感染症について、流行状況に応じた施設内の感染対策を講じ、全職員と情報共有を図るとともに、職員一人ひとりが公私にわたり感染対策を徹底することで、施設内での感染予防及び蔓延防止に努める。また、医療機関及び関係機関との連携により、迅速・的確な対応に努める。

#### [各施設の主要目標]

- 1 日立市萬春園
  - (1) 利用者確保目標

令和4年度目標	令和3年度実績 (R4.3.1現在)
100人	91人



## (2) 重点目標

- ア 利用者のニーズや有する能力、家族の要望・意向に沿った個別の介護計画書、栄養ケア計画、訓練計画書を作成し、これらに基づくサービスを提供することにより、尊厳ある自立した生活を支援する。
- イ 主治医のもと看護職員の24時間オンコール体制、多職種協働体制の強化により利用者の症状緩和と健康管理に努めるとともに、医療機関と連携を図り、体調変化時の早期対応に努める。
- ウ 感染症マニュアルに基づく施設内の衛生管理、最新の感染症予防における実証されたデータ等を根拠とした様々な感染症対策の実施により、感染予防を徹底する。
- エ 身体拘束廃止委員会や第三者委員を含めた虐待防止委員会の定期的な開催、研修及び自己評価の実施により、利用者の人権尊重に関する意識向上を図る。
- オ 萬春園再整備に伴い、移転後の新施設に対応した人員配置及び勤務体制の検討や見直しを行い、新たな運営体制の構築を図る。また、新施設の設備を有効活用ができるよう設備等の研修を行うとともに、円滑な移転ができるよう計画的に準備を進める。
- カ 各職種において、より専門的な人材の育成を目指すとともに、タブレットを活用した介護記録の電子化、介護ロボット等の導入など、ICTの利用促進による業務の効率化及び職員の負担軽減を図る。また、「あんしん・ぬくもり・やすらぎ」をキーワードとして、超高齢化社会に対応した質の高いケアと適正なサービスを提供できる施設を目指す。

## (3) 施設行事

時期	行事名	目的等
4月	観桜ドライブ	街路樹や公園等の桜を鑑賞し、春の訪れを感じる。
5月	端午の節句、菖蒲湯	五月人形の鑑賞や菖蒲湯で季節感を味わう。
6月	新緑ドライブ	新緑や初夏の海岸を眺め、気分転換を図る。
7月	七夕	願いを込めた短冊などを飾り、雰囲気味わう。
8月	納涼会	屋台風メニューやゲームで夏祭りの楽しいひと時を過ごす。

9月	敬老会	利用者に敬意を表し、家族と共に長寿の祝いをする。
	十五夜	団子を作りお供えすることで、秋の雰囲気味わう。
10月	十三夜	団子を作りお供えすることで、秋の雰囲気味わう。
11月	紅葉ドライブ	紅葉を鑑賞し、秋の訪れを感じる。
12月	忘年会	一年を振り返り、職員と共に年の瀬を感じる。
	柚子湯	柚子の香りを楽しみながら、風邪の予防をする。
	餅つき	師走の雰囲気や新年を迎える気持ちを高める。
1月	賀詞交換会	おせち料理や昔ながらの遊びで正月の雰囲気味わう。
	初詣	近隣の神社で新年を迎え、健康と幸せを祈願する。
2月	節分	豆まきを行い、一年の健康を祈願する。
3月	観梅ドライブ	近隣の梅花を鑑賞し、春の訪れを感じる。
	ひな祭り	ひな人形を飾り、春の雰囲気味わう。
備考	食事会、買物、外出、散歩などは、随時実施	

#### (4) 会議・委員会

名称	主な内容	頻度	参加者
職員会議	職員体制等の検討及び情報共有	随時	全職員
ステーション会議	利用者個々の介護内容・方法の検討	年4回	施設長、各専門職、介護職員
ケアカンファレンス	施設サービス計画書の検討	毎月	施設長、各専門職、介護職員
給食会議	献立及び提供方法の検討	毎月	施設長、各専門職、介護職員
施設行事の担当者会議	施設行事の打ち合わせ	随時	施設長、各専門職、担当委員
入所検討委員会	入所希望者についての優先順位及び受入可否の検討	年6回	施設長、第三者委員、市介護保険課職員、担当委員
事故・安全検討委員会	ヒヤリハット・介護事故の原因分析、防止策の検討	年4回	施設長、各専門職、担当委員

生活検討委員会	介護内容及びマニュアルの検討	年4回	施設長、各専門職、担当委員
身体拘束廃止委員会	身体拘束の廃止及び適正化の検討	年4回	施設長、各専門職、担当委員
虐待防止委員会	虐待防止に関わる事項の研修、点検、検証及び防止策の検討	年4回	施設長、担当委員、第三者委員
感染症対策委員会	感染症対策の検討	年4回	施設長、各専門職、担当委員
痰吸引検討委員会	痰吸引の安全管理及び研修	年4回	施設長、各専門職、担当委員
褥瘡防止検討委員会	褥瘡防止に関わる事項の検証及び防止策の検討	年4回	施設長、各専門職、担当委員
防火管理委員会	防災、施設安全に関する事項の確認及び検討	年4回	施設長、担当委員等
環境整備検討委員会	施設内外の環境美化及び点検	年4回	施設長、各専門職、担当委員
萬春園再整備検討委員会	新施設における生活導線、職員体制、備品等の検討	随時	施設長、担当委員等

(5) 研修等

時期	研修名	参加者
4月	新任職員研修（中途採用者：随時）	新任職員
	身体拘束廃止・虐待防止・事故発生防止研修	全職員
9月	痰吸引研修	介護職員（認定特定行為業務従事者）
10月	手洗い方法研修	全職員
	ノロウイルス対策研修	全職員
11月	身体拘束廃止・虐待防止・事故発生防止研修	全職員
3月	普通救命講習会	看護職員、介護職員等

備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排せつ介助研修は、随時実施</li> <li>・外部研修は、必要に応じて適宜参加</li> <li>・総合防災訓練：9月・3月、夜間想定訓練：1月、風水害想定訓練：10月、ステーション毎の避難訓練：その他の月</li> </ul>
----	---

## 2 日立市萬春園デイサービスセンター

### (1) 重点目標

ア 利用者及び家族の要望を踏まえて、利用者の心身の状況に応じて作成した通所介護計画書に基づき、適切なサービスを提供する。また、家族及び居宅介護支援事業者との連携を密に行い、在宅生活機能の維持・向上を図る。

イ 感染症マニュアルの充実を図り、利用者の体調変化に留意しながら施設内の衛生管理に努めるとともに、定期的な研修の実施により職員の意識づけを行い、感染予防び蔓延防止に努める。

ウ 多職種間の共通理解や内外部の研修を通して、介護の専門性を養うとともに、利用者のニーズに合わせた創作活動やレクリエーションメニューの充実を図り、サービスの向上に努める。

エ 自然災害発生時は地域の福祉避難所としての役割を担い、地域社会に貢献する。

オ 市と連携し、萬春園再整備に伴う事業廃止を進める。

### (2) 施設行事

時期	行事名	目的等
4月	観桜ドライブ	桜を鑑賞し、春の訪れを感じる。
5月	新緑散歩	新緑の中を散歩し、気分転換をする。
	菖蒲湯	菖蒲湯により季節感を楽しむ。
6月	海岸ドライブ	海岸沿いのドライブで初夏の訪れを感じる。
7月	七夕飾り	短冊などの七夕の飾り付けを行い、夏の雰囲気を楽しむ。
8月	夏祭り	野外で流しそうめんやゲームを楽しみ、夏祭りの雰囲気と季節感を味わう。
9月	敬老会	利用者に敬意を表し、長寿の祝いをする。
10月	運動会	身体を動かし、皆で知恵と力を合わせて競技を楽しむ。

11月	作品展示会	創作活動の作品を展示する。
	紅葉ドライブ	紅葉狩りで、秋の訪れを楽しむ。
12月	忘年会	一年を振り返り、年末の雰囲気を楽しむ。
	柚子湯	新年を迎える気持ちを高めるとともに風邪を予防する。
1月	初釜	新年を祝うお茶会を行い、季節感を味わう。
2月	節分	豆まきを行い、一年の健康を祈願する。
3月	観梅ドライブ	梅を鑑賞し、春の訪れを感じる。
備考	誕生会、手作りクッキング、お楽しみランチは随時実施	

### (3) 会議・委員会

名称	主な内容	頻度	参加者
職員会議	職員体制の検討、施設行事の打ち合わせ	毎月	全職員
ケース会議	通所介護計画書の検討	毎月	全職員
給食会議	献立及び提供方法の検討	毎月	施設長、担当委員等
事故・安全検討委員会	ヒヤリハット・介護事故の原因分析、防止策の検討	年4回	施設長、担当委員等
虐待防止委員会	虐待防止に関わる事項の研修、点検、検証及び防止策の検討	年4回	施設長、担当委員、第三者委員
感染症対策委員会	感染症対策の検討	年4回	施設長、担当委員等
環境整備検討委員会	施設内外の環境美化及び点検	年4回	施設長、担当委員等
防火管理委員会	防災、施設安全に関する事項の確認及び検討	年4回	施設長、担当委員等

### (4) 研修等

時期	研修名	参加者
4月	新任職員研修（中途採用者：随時）	新任職員
6月	虐待防止研修	全職員

10月	手洗い方法研修	全職員
	ノロウイルス対策研修	全職員
3月	普通救命講習会	看護職員、介護職員等
備考	・外部研修は、必要に応じて適宜参加 ・総合防災訓練：9月・3月、風水害想定訓練：10月	

(5) 臨時営業日

月曜祝日	7/18、9/19、10/10、1/9
------	---------------------

### 3 ミニデイサービス事業

(1) 重点目標

日常生活を営む上で支援が必要な高齢者に対し、要介護状態等となることを予防し、可能な限り住み慣れた地域で、その人らしい自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の希望及び身体的状況に応じた機能訓練、入浴、健康体操、趣味活動、レクリエーション等の短時間の通所型サービスを提供する。

(2) 施設行事 萬春園デイサービスセンターの行事に参加する。

### 4 日立市萬春園介護計画センター

(1) 重点目標

ア 感染症予防対策を十分に行い、利用者が安心して相談できる体制づくりに努める。

イ 医療機関や各関係機関との連携を密に行い、利用者の自立促進や中立の立場に立ったケアマネジメントを行う。

ウ 事業所内で情報を共有しながら、職員一人ひとりが自己研鑽に励み、ケアマネジャーとしての資質の向上に努める。

## かねはた

○養護老人ホーム「日立市かねはた老人ホーム」

○同 生活管理指導短期宿泊事業

○老人短期入所施設「日立市かねはた短期入所施設」

(指定短期入所生活介護事業所・指定介護予防短期入所生活介護事業所)

○同 障害福祉サービス事業 (指定短期入所事業所)

○老人デイサービスセンター「日立市かねはたデイサービスセンター」

(指定通所介護事業所・指定基準型通所介護サービス事業所・認知症対応型通所介護事業所・介護予防認知症対応型通所介護事業所)

○生きがいつくり支援事業

### [施設共通目標]

- 1 新型コロナウイルス感染症を想定した「新しい生活様式」に沿った支援及び介護サービスを提供する。また、感染状況等に関する情報収集を行い、適時適切な対応に努めるとともに、定期的に研修を行い、標準予防策及び蔓延防止策の徹底を図る。
- 2 施設職員として、ゆとりと豊かな心を持って利用者を支援するため、職員間のコミュニケーションの活性化、支え合う職場環境、風通しの良い施設風土の構築を図る。
- 3 研修等を通して、職員間での様々なハラスメントについての理解を深め、ハラスメントが発生しにくい職場環境や職場内の秩序の維持に努める。
- 4 火災や地震、風水害など様々な災害を想定とした防災訓練を計画的に実施し、安全かつ迅速な避難・誘導體制づくりに努め、組織全体に防災対応力を高める。

### [各施設の主要目標]

1 日立市かねはた老人ホーム

(1) 利用者確保目標

令和4年度目標	令和3年度実績 (R4.3.1現在)
45人	41人

(2) 重点目標

ア コロナ禍においても、「新しい生活様式」を踏まえた行事や余暇活動を提供し、

利用者の楽しみや生活の満足度を高める。

イ 利用者一人ひとりが自立した日常生活を継続して営めるよう、コロナ禍における行動制限が日常生活動作に及ぼす影響を見極め、最適な支援に努める。

ウ 情報共有が円滑にできる職場環境の構築に努め、職員間の連携強化と職員全体の資質向上を図る。

エ 多様化する利用者個々のニーズに対応するため、オンライン研修会等に積極的に参加し、専門的知識の習得や相談援助技術の研鑽に励むとともに、支援者としての自覚を培い、サービスの質の向上に努める。

オ 地域行事への参加及び環境美化活動などを継続的に支援し、社会性の維持と地域に開かれた施設を目指す。

### (3) 施設行事

時期	行事名	目的等
4月	観桜ドライブ	市内の名所となっている桜を鑑賞し、春の訪れを感じる。
5月	衣類買物外出	自分の好みに合った衣類を購入し、外食を楽しむ。
6月	映画会	大型スクリーンで映画を楽しむ。
	外食会	普段の食事と違った雰囲気、旬の味覚を楽しむ。
7月	小グループ旅行	市内の観光スポットを巡り、地元の良さを感じる。
8月	納涼会	夕涼みを兼ねて、夏祭りの気分を楽しむ。
9月	敬老会	利用者に敬意を表し、長寿の祝いを行う。
	小グループ旅行	豊かな自然を楽しみながら、ピザ作りを行う。
10月	小グループ旅行	海浜公園で紅葉や秋の花を楽しむ。
	野外昼食会	秋の陽気を感じながら、野外で昼食を楽しむ。
11月	合同文化祭	各種クラブで制作した作品を展示し、鑑賞する。
12月	焼芋会	園芸クラブで育てた芋を食べ、収穫の喜びを味わう。
	忘年会	一年を振り返り、利用者間の親睦を深める。
	小グループ旅行	街のイベント（クリスマスイルミネーション）を楽しむ。
1月	賀詞交換会	新春を祝うとともに、新年の無病息災を誓い合う。
	初釜	新春を祝うお茶会を行い、季節感を味わう。



2月	節分	豆まきを行い、厄を払い一年の健康を祈願する。
	レクリエーション大会	身体を動かし、各種ゲームを楽しむ。
3月	映画会	大型スクリーンで映画を楽しむ。
	小グループ旅行	ドライブを楽しみながら、日立市の歴史に触れる。
備考	誕生会は、毎月実施、ミニ行事は、適宜実施	

(4) 会議・委員会

名称	主な内容	頻度	参加者
職員会議	利用者個々の支援内容・業務内容の情報共有及び検討	随時	全職員
給食会議	献立及び提供方法の検討	毎月	施設長、各専門職、支援員
事故防止委員会	ヒヤリハット・介護事故の原因分析、防止策の検討	年4回	施設長、各専門職、担当委員
虐待防止委員会	虐待防止に関わる事項の研修、点検、検証及び防止策の検討	年4回	施設長、担当委員、第三者委員
感染症対策委員会	感染症防止の実施計画の策定及びマニュアルの見直し	年4回	施設長、各専門職、担当委員
施設安全管理委員会	防災、施設安全に関する事項の確認及び検討	年4回	施設長、各専門職、担当委員
ケアプラン検討委員会	ケアプランに関する検討	年2回	施設長、各専門職、担当委員
身体的拘束等適正化検討委員会	身体的拘束等の廃止及び適正化の検討	年4回	施設長、各専門職、担当委員

(5) 研修等

時期	研修名	参加者
4月	新任職員研修（中途採用者：随時）	新任職員
5月	感染症予防研修	全職員
6月	介護技術研修	生活相談員、支援員
7月	ハラスメント研修	全職員

9月	虐待防止・権利擁護研修	全職員
10月	普通救命講習会	全職員
	身体的拘束等適正化研修	全職員
11月	感染症予防研修	全職員
2月	身体的拘束等適正化研修	全職員
備考	・外部研修は、必要に応じて適宜参加 ・総合防災訓練：5月・11月（夜間想定訓練）、風水害想定訓練：10月	

## 2 生活管理指導短期宿泊事業

### (1) 重点目標

関係機関との連絡調整を密に行い、利用者一人ひとりの生活状況に応じた適切な生活支援を行い、基本的な生活習慣の確立が図れるよう支援する。

### (2) 主要行事 かねはた老人ホームの行事に参加する。

## 3 日立市かねはた短期入所施設

### (1) 利用者確保目標

令和4年度目標	令和3年度実績（R4.3.1現在）
16人	11.5人

### (2) 重点目標

ア 介護技術及び知識の向上に資する研修を行い、利用者一人ひとりの心身の状況に応じた適切かつ質の高いサービスの提供に努める。

イ 個人の能力に応じた余暇・趣味活動を提供し、日常生活能力と生活意欲の維持及び向上が図れるよう支援する。

ウ 居宅介護支援事業者との連携を密にし、利用者及び家族のニーズに対応していくとともに、利用率の向上に努める。

エ 業務内容の見直しを行い、業務の効率化を図るとともに、職員間の連携を密にし、組織力の強化に努める。

(3) 施設行事

時期	行事名	目的等
5月	端午の節句	菖蒲湯により季節感を楽しむ。
7月	七夕	七夕の飾り付けを行い、季節感を楽しむ。
8月	納涼会	夕涼みを兼ねながら、夏祭りの気分を楽しむ。
9月	敬老の集い	利用者に敬意を表し、長寿の祝いをする。
10月	月見	団子を作ってすすきを飾り、季節感を楽しむ。
	ミニ運動会	利用者同士で力を合わせて、各種競技を楽しむ。
11月	合同文化祭	利用時に制作した作品を展示し、鑑賞する。
12月	鏡餅づくり	お供え餅を作り、年末気分を味わう。
1月	新年を祝う会	賀詞交換を通し、新年を迎えた喜びを味わう。
2月	節分	豆まきを行い、厄を払い一年の健康を祈願する。
備考	おやつ作りは、毎月実施	

(4) 会議・委員会

名称	主な内容	頻度	参加者
職員会議	利用者個々の介護内容の情報共有及び検討	随時	全職員
給食会議	献立及び提供方法の検討	毎月	施設長、各専門職、介護職員
事故防止委員会	ヒヤリハット・介護事故の原因分析、防止策の検討	年4回	施設長、担当委員等
虐待防止委員会	虐待防止に関わる事項の研修、点検、検証及び防止策の検討	年4回	施設長、担当委員、第三者委員
介護技術向上委員会	介護技術や知識、サービス内容の検討	年3回	施設長、担当委員等
感染症対策委員会	感染症防止の実施計画の策定及びマニュアルの見直し	年4回	施設長、担当委員等
施設安全管理委員会	防災、施設安全に関する事項の確認及び検討	年4回	施設長、担当委員等

身体的拘束等適正化 検討委員会	身体的拘束等の廃止及び適正化 の検討	年4回	施設長、各専門 職、担当委員
--------------------	-----------------------	-----	-------------------

(5) 研修等

時期	研修名	参加者
4月	新任職員研修（中途採用者：随時）	新任職員
5月	感染症予防研修	全職員
6月	介護技術・接遇研修	全職員
7月	ハラスメント研修	全職員
9月	虐待防止・権利擁護研修	全職員
10月	普通救命講習会	全職員
	身体的拘束等適正化研修	全職員
11月	感染症予防研修	全職員
	介護技術・接遇研修	全職員
2月	身体的拘束等適正化研修	全職員
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修は、必要に応じて適宜参加</li> <li>・総合防災訓練：5月・11月（夜間想定訓練）、風水害想定訓練：10月</li> </ul>	

4 日立市かねはたデイサービスセンター

(1) 利用者確保目標

区分	令和4年度目標	令和3年度実績（R4.3.1現在）
一般型	17人	13.5人
認知症対応型	4人	2.8人

(2) 重点目標

- ア 在宅での生活がその人らしく継続できるよう、家族及び関係機関と連携を行い、利用者の能力と個性を活かした援助に努める。
- イ 利用者が楽しく参加できるレクリエーションや趣味活動を提供し、張りのあるひと時が過ごせるよう努めるとともに、心身の活性化及び生きがいの創出を図る。
- ウ 認知症に関する理解を深めるとともに、職員間及び家族とのコミュニケーション

ンを密にすることで、利用者一人ひとりの日々の状態変化等を把握し、「寄り添う」ケアを実施する。

エ 情報や意見を交換し合える「風通しの良い職場環境」を構築し、職員の業務意欲の向上に努める。

オ 施設内研修により感染症についての知識や意識の向上を図り、感染予防対策の徹底に努める。

### (3) 施設行事

時期	行事名	目的等
4月	花見ドライブ	ドライブで桜を鑑賞し、春の訪れを感じる。
5月	お楽しみ風呂	菖蒲湯により季節感を楽しむ。
	屋外で食事	屋外で食事し、中庭の花や新緑で季節を感じる。
7月	七夕	短冊などの七夕の飾り付けやボランティアによる音楽演奏を行い、季節感を楽しむ。
8月	お楽しみ風呂	ラベンダー湯により夏の疲れを癒す。
9月	敬老会	ボランティアによる歌や踊りを鑑賞し、長寿を祝う。
	運動会	利用者同士で力を合わせて、各種競技を楽しむ。
10月	月見	団子を作ってすすきを飾り、季節感を楽しむ。
11月	おやつ作り	料理を楽しみながら心を満たす。
	合同文化祭	利用時に制作した作品を展示し、鑑賞する。
12月	お楽しみ風呂	柚子湯により季節感を楽しむ。
1月	初釜	新年を祝うお茶会を行い、季節感を味わう。
2月	節分	豆まきを行い、厄を払い一年の健康を祈願する。
3月	おやつ作り	桜餅を作り、季節感を楽しむ。
備考	誕生会は、毎月実施	

### (4) 会議・委員会

名称	主な内容	頻度	参加者
職員会議	利用者個々の介護内容の情報共有及び検討	随時	全職員

給食会議	献立及び提供方法の検討	毎月	施設長、担当職員等
事故防止委員会	ヒヤリハット・介護事故の原因分析、防止策の検討	年4回	施設長、担当委員等
虐待防止委員会	虐待防止に関わる事項の研修、点検、検証及び防止策の検討	年4回	施設長、担当委員、第三者委員
感染症対策委員会	感染症防止の実施計画の策定及びマニュアルの見直し	年4回	施設長、担当委員等
施設安全管理委員会	防災、施設安全に関する事項の確認及び検討	年4回	施設長、担当委員等
運営推進会議	サービス提供状況等の報告、サービスに関する意見交換	年2回	施設長、外部委員 (地域住民の代表外4名)
身体的拘束等適正化検討委員会	身体的拘束等の廃止及び適正化の検討	年4回	施設長、各専門職、担当委員

(5) 研修等

時期	研修名	参加者
4月	新任職員研修（中途採用者：随時）	新任職員
5月	感染症予防研修	全職員
6月	認知症ケア研修	全職員
7月	ハラスメント研修	全職員
9月	虐待防止・権利擁護研修	全職員
10月	普通救命講習会	全職員
	身体的拘束等適正化研修	全職員
11月	感染症予防研修	全職員
2月	身体的拘束等適正化研修	全職員
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部研修は、必要に応じて適宜参加</li> <li>・ 総合防災訓練：5月・11月、風水害想定訓練：10月</li> </ul>	

(6) 臨時営業日

年末年始	・一般型（土・祝日は通常営業）	12/29
	・認知症対応型（祝日は通常営業）	12/29

5 生きがいつくり支援事業

(1) 重点目標

ア 軽度スポーツ、趣味活動及び教養講座などを実施し、生きがい活動の助長を図り、運動機能の向上、閉じこもり・認知症・うつなどの予防を行う。

イ 利用者一人ひとりに応じた介護予防支援計画に沿って、サービスの提供と評価を行い、運動機能の維持・改善を支援する。

(2) 主要行事

ア 季節感を取り入れたレクリエーション活動（節句、七夕、クリスマスなど）

イ 教養講座

## はまぎく荘

○老人福祉センター「日立市老人福祉センターはまぎく荘」

○老人デイサービスセンター「日立市はまぎく荘デイサービスセンター」

(指定通所介護事業所・指定基準型通所介護サービス事業所)

○同 ミニデイサービス事業

### [各施設の主要目標]

#### 1 日立市老人福祉センターはまぎく荘

##### (1) 重点目標

ア 感染症予防対策の徹底を図り、安心して利用できる施設づくりに努める。

イ 「交流スペース」を活用し、地域住民の情報交換や交流の拠点となるよう地域に根差した施設運営を行い、利用の促進を図る。

ウ 非常災害などの発生時に迅速な対応ができるよう様々な想定をした防災訓練を実施し、職員の防災意識の高揚に努める。

##### (2) 施設行事

時期	行事名	目的等
5月	クラブ代表者会議	施設利用に関する意見交換を行う。
12月	教養講座	講座を開催し、教養の向上や健康増進を図る。
	年末大掃除	職員及び利用者で館内外の大掃除を行い、新年を迎える準備をする。

#### 2 日立市はまぎく荘デイサービスセンター

##### (1) 利用者確保目標

令和4年度目標	令和3年度実績 (R4.3.1現在)
18人	10.5人

##### (2) 重点目標

ア 利用者及び家族へのアンケートを実施し、より細やかな要望を把握することで適切なサービスの提供及び利用率向上に努める。

イ 感染症予防対策を徹底するとともに、趣味活動やレクリエーションの充実を図



り、安心かつ満足度の高いサービス提供に努める。

ウ 外部研修の活用、職員間の情報共有により様々な情報やニーズを捉え、事故防止及び不適切なケアの防止を図り、サービスの質の向上に努める。

エ 災害発生時は、福祉避難所としての役割を担い、地域社会貢献を図る。

### (3) 施設行事

時期	行事名	目的等
4月	花見ドライブ	桜を鑑賞し、春の訪れを感じる。
	こいのぼり作り	昔を懐かしみながら、交流を図る。
5月	花植え会	花壇などに花や野菜を植え、季節感を味わう。
6月	買物ツアー	利用者の希望に沿った店に行き、買物を楽しむ。
7月	七夕	願い事を書いた短冊を飾り、季節を感じる。
	おやつ作り	手作りのおやつを作りながら、交流を図る。
8月	夏祭り	夏祭りの雰囲気を楽しみながら、交流を図る。
9月	敬老会	利用者に敬意を表し、長寿の祝いをする。
10月	ミニ遠足	近隣に外出し、気分転換を図る。
11月	作品展示会	制作した作品を展示・鑑賞し、生活意欲の向上を図る。
	買物ツアー	利用者の希望に沿った店に行き、買物を楽しむ。
12月	忘年会	クリスマスの飾り付けなどにより、季節感を楽しむ。
1月	初釜	新年を祝うお茶会を行い、季節感を味わう。
2月	節分	豆まきを行い、厄を払い一年の健康を祈願する。
3月	ひな祭り	ひな人形を飾り、春の訪れを感じる。
	おやつ作り	手作りのおやつを作りながら、交流を図る。
備考	変わり湯、誕生会は、毎月実施	

### (4) 会議・委員会

名称	主な内容	頻度	参加者
職員会議	利用者個々の介護内容・業務内容の情報共有及び検討	毎月	全職員
給食会議	献立及び提供方法の検討	毎月	施設長、調理員、介護職員

虐待防止委員会	虐待防止に関わる事項の研修、点検、検証及び防止策の検討	年4回	施設長、担当委員、第三者委員
感染症対策委員会	感染症対策の確認及び検討	年2回	施設長、担当委員等
事故防止委員会	ヒヤリハット・介護事故の原因分析、防止策の検討	年2回	施設長、担当委員等

(5) 研修等

時期	研修名	参加者
4月	新任職員研修（中途採用者：随時）	新任職員
5月	介護技術研修	全職員
6月	医務研修（応急・救急処置）	全職員
10月	介護技術研修	全職員
11月	医務研修（感染症予防）	全職員
2月	虐待防止研修	全職員
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修は、必要に応じて適宜参加</li> <li>・総合防災訓練：5月・10月、風水害想定訓練：7月</li> </ul>	

(6) 臨時営業日

月曜祝日	7/18、9/19、10/10、1/9
------	---------------------

3 ミニデイサービス事業

(1) 重点目標

日常生活を営む上で支援が必要な高齢者に対し、要介護状態等となることを予防し、可能な限り住み慣れた地域で、その人らしい自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の希望及び身体的状況に応じた機能訓練、入浴、健康体操、趣味活動、レクリエーション等の短時間の通所型サービスを提供する。

(2) 主要行事 はまぎく荘デイサービスセンターの行事に参加する。

## 大みかけやき荘

○障害者支援施設「日上市大みかけやき荘」

(指定生活介護事業所・指定施設入所支援事業所)

○同 障害福祉サービス事業

(指定短期入所事業所)

○障害者等日中一時支援事業

○グループホーム事業「けやきホーム」

(指定外部サービス利用型共同生活援助事業所)

### 1 日上市大みかけやき荘

#### (1) 利用者確保目標

令和4年度目標	令和3年度実績 (R4.3.1現在)
50人	50人

#### (2) 重点目標

ア 新しい生活様式に基づき、日中活動や行事は小グループで実施し、利用者の満足度を高めるとともに、感染症の予防と蔓延防止に努める。

イ 利用者の高齢化や重度化に対応し、障害特性に即した支援を行うため、日課等の検討・見直しを行う。また、PDRサイクル（準備・実行・評価）に基づき、支援事故等の課題に対して迅速に対応し、再発防止と改善に努める。

ウ タブレットを活用した支援記録の電子化に向けたソフトの導入により、記録の効率化や職種間の円滑な情報共有を図り、サービスの質の向上に努める。

エ 相談支援事業所や関係機関と連携し、利用者の地域生活移行の可能性や障害者支援施設の在り方について、検討を進める。

オ 定期的な会議の開催等による職員相互の情報共有と意見交換を推進する。また、施設内外の研修への参加と自己研鑽により、職員一人ひとりの支援力の向上を図る。

#### (3) 施設行事

時期	行事名	目的等
4月	観桜ドライブ	花見ドライブを行い、春の訪れを感じる。

5月	端午の節句	折り紙やちぎり絵で鯉のぼりを作り、雰囲気を楽しむ。
	市外遠足（小グループ）	少人数で日帰りの遠足に出かけ、季節感を感じながら気分転換を図る。
6月	けやき祭	けやき荘の創立を祝う。
7月	七夕	短冊に願を込め、笹に飾り付けを行い、季節感を味わう。
	外食会	棟単位で外食会を行い、自分の好きなメニューを選んで楽しむ。
8月	夕涼み会	夕涼みを兼ねて、夏祭りの雰囲気を味わい、ひと時の涼を感じる。
10月	野外昼食会	野外での食事やレクリエーションを行い、楽しい時間を過ごす。
11月	焼き芋	畑で収穫したサツマイモで旬の食材を味わう。
12月	年忘れ会	食事等の楽しい時間を過ごし、一年の労をねぎらう。
	クリスマス会	ツリーやケーキなどによりクリスマスの雰囲気を楽しむ。
1月	新春の集い	新年を祝い、お正月気分を味わう。
2月	節分	豆まきをして、無病息災を願う。
3月	桃の節句	雛人形を飾り、雰囲気を楽しむ。
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生会は、毎月実施</li> <li>・けやき' Sキッチン、各棟でのレクリエーション等は、随時実施</li> <li>・地域の行事（スポーツ大会・運動会等）には、新型コロナの状況を踏まえて適宜参加</li> </ul>	

#### (4) 会議・委員会

名称	主な内容	頻度	参加者
職員会議	事業計画、業務内容などの情報共有及び検討、研修報告	年2回	全職員
棟会議	利用者個々の支援内容の情報共有及び検討	随時	施設長、各専門職、生活支援員
生活検討委員会	施設内の課題の改善に関する計画、実施及び見直し、職員研修	年4回	施設長、各専門職、担当委員

ケース検討会議	個別支援計画書、栄養ケア計画の検討、評価、見直し	毎月	施設長、各専門職、担当者
給食検討会議	献立及び提供方法の検討、嗜好調査	毎月	施設長、各専門職、生活支援員
事故防止検討委員会	ヒヤリハット・支援事故の原因分析、防止策の検討	年4回	施設長、各専門職、担当委員
虐待防止委員会	虐待防止に関わる事項の研修、点検、検証及び防止策の検討	年5回	施設長、担当委員、第三者委員
感染症対策委員会	感染症予防策の実施、検討及び研修の実施	年4回	施設長、担当委員等
安全対策委員会	防災、施設安全に関する事項の確認及び検討	年4回	施設長、担当委員等
個別支援計画作成委員会	個別支援計画書・栄養ケアマネジメントに関する検討、計画書作成研修の実施及び指導	随時	施設長、担当委員等

(5) 研修等

時期	研修名	参加者
4月	新任職員研修（中途採用者：随時）	新任職員
6月	感染症対策研修（新型コロナウイルス発生対応訓練）	全職員
7月	口腔ケア研修	生活支援員
9月	虐待防止・権利擁護研修	全職員
10月	感染症対策研修（手洗い方法・嘔吐物の処理等）	全職員
12月	普通救命講習会	全職員
3月	虐待防止・権利擁護研修	全職員
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修は、必要に応じて適宜参加</li> <li>・総合防災訓練：6月（夜間想定訓練）・11月、風水害想定訓練：9月</li> </ul>	

## 2 けやきホーム

### (1) 重点目標

ア 新しい生活様式に基づき、自己選択・自己決定を尊重し、地域の中で、その人らしい自立した生活が送れるよう支援する。

イ 毎日の体調確認により体調変化を早期発見するとともに、医療機関との連携を密にし、利用者の健康維持に努める。

ウ 巡回による定期的な火気等の点検・確認、定期的な防災訓練を行い、利用者が速やかに避難や連絡ができるよう防災意識の向上を図る。

### (2) 施設行事等

時期	行事名	目的等
4月	観桜ドライブ	花見ドライブを行い、春の訪れを感じる。
5月	市外遠足（小グループ）	少人数で日帰りの遠足に出かけ、季節感を感じながら気分転換を図る。
8月	夕涼み会	夕涼みを兼ねて、夏祭りの雰囲気を楽しむ、ひと時の涼を感じる。
10月	野外昼食会	野外での食事やレクリエーションを行い、楽しい時間を過ごす。
11月	焼き芋	畑で収穫したサツマイモで旬の食材を味わう。
12月	クリスマス会	クリスマス会を行い、親睦を深める。
1月	正月	おせち料理を食べながら新年を祝う。
3月	観梅ドライブ	観梅を兼ねてドライブを行い、季節感を味わう。
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事会、外食会、ドライブは、随時実施</li> <li>・総合防災訓練：11月（けやき荘に参加）、避難訓練：6月</li> </ul>	

### (3) 会議

名称	主な内容	頻度	参加者
ケース会議	個別支援計画書に基づく支援内容の検討、評価、見直し	随時	施設長、各専門職、担当者